

ひろさき

編集発行 弘前市市民環境部広報広聴課 No. 100

平成 22 年
(2010)

4 月 15 日号

■おかげさまで 100 号達成！

弘前市、岩木町、相馬村が合併し「新弘前市」が誕生してからはや 4 年。合併後の「広報ひろさき」も今号で 100 号の節目を迎えました。これまで本紙の作成や配布などにご協力いただいた関係者の皆さん、そしていつも読んでくださる市民の皆さんに心より感謝いたします。今後も市民の皆さんが親しみやすく、読みやすい広報紙の作成に取り組んでいきますので、これからの「広報ひろさき」もよろしくお願いします。

特 集

弘前さくらまつり P. 2

●市 政／国保年金課からのお知らせ、..... P. 4

平成 22 年度施政方針と予算、

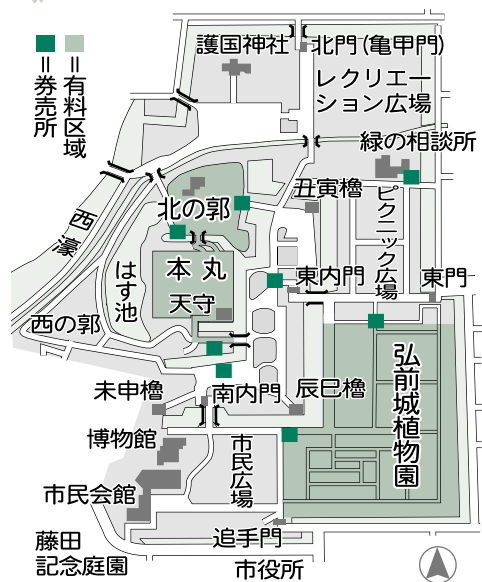
第 2 次行政改革大綱を策定 ほか

●お知らせ／催し、教室など P. 16





弘前公園有料区域



弘前城(本丸・北の郭)入園料 4月23日～5月5日		
午前7時～	大人(高校生以上)	300円(240円)
午後9時	子供(小・中学生)	100円(80円)
弘前城史料館(天守)への入館料を含む。 ※午後9時以降は無料(史料館は午後9時で閉館)。		
◆問い合わせ先 公園緑地課(☎33・8739)		

弘前城植物園・藤田記念庭園入園料		
午前9時～	大人(高校生以上)	300円(240円)
午後6時	子供(小・中学生)	100円(80円)
入園券の発売は午後5時半までで、植物園、記念庭園それぞれで入園料が必要です。 休園日…なし ※65歳以上の市民、市内の小・中学生や障害者、外国人留学生は無料。年齢や住所、身分を証明できるものの提示を。		
◆問い合わせ先 植物園(☎33・8733) 記念庭園(☎37・5525)		

お得なセット(弘前城と植物園)入園料		
午前9時～	大人(高校生以上)	500円(450円)
午後6時	子供(小・中学生)	160円(130円)
◆問い合わせ先 公園緑地課(☎33・8739)		

※料金()内は10人以上の団体料金。

- ◎弘前公園内では火気の使用はできません。
- ◎ごみの削減・持ち帰りにご協力ください。
- ◎弘前公園までは公共交通機関をご利用ください。

※臨時無料駐車場(□)は、夜間は閉鎖します(午後6時まで利用可)。

カラーコーンの設置にご理解・ご協力を

さくらまつり期間中は、違法駐車車両の排除や交通渋滞の防止、無理な横断者の交通事故防止を図るため、東門から亀甲町交差点にかけてカラーコーンを140本設置しています。

これについて、「美観を損ねる」「自転車走行の妨げになっている」などの理由から撤去要望がありますが、県内外から訪れる観光客の安全・安心を第一に、道路における危険防止と円滑な交通の流れを確保するために必要な措置ですので、ご理解とご協力をお願いします。

▽問い合わせ先 弘前警察署 交通第二課(☎32・0111)

観光ボランティア

弘前観光ボランティアガイドの皆さんが案内します。追手門と東門付近に詰め所がありますので、気軽にご利用を。

▽案内時間 まつり期間中の午前9時～午後5時(受付は午後4時まで)

※事前予約は受け付けていません。

▽案内範囲 弘前公園、弘前市内および周辺

▽ガイド料 無料

▽問い合わせ先 弘前観光ボランティアガイドの会(市立観光館内、☎35・3131)

車いす応援隊

車いす応援隊では、さくら

まつりに来園した車いす利用者の介助や、車いすの貸し出しを行います。

▽活動場所 弘前公園内

▽活動日時 まつり期間中の午前9時～午後4時

※事前予約は受け付けていません。

▽利用料 無料

▽問い合わせ先 弘前市ボランティアセンター(☎33・2039)

シャトルバスを運行

堀越雪置き場を臨時駐車場とし、上下水道部(茂森町、弘前公園まで徒歩約5分)までの往復シャトルバスを運行します。

▽運行日 4月24日・25日・29日、5月1日・2日・3日

(計6日間)

▽運行時間

○堀越雪置き場発 午前10時以降30分おき↓最終は午後3時

○上下水道部発 午前11時以降30分おき↓最終は午後5時半

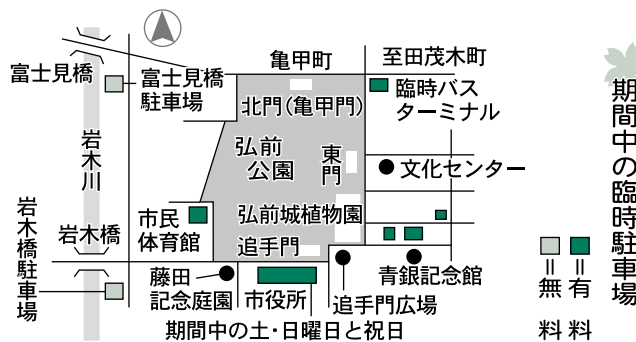
▽臨時駐車場利用料 無料

▽シャトルバス乗車料 無料

▽問い合わせ先 観光物産課(☎35・1128)

■開花状況やまつり期間中の催しなど、まつりに関する問い合わせ先 市立観光館(追手門広場内、☎37・5501) / まつり期間中は午後9時まで開館

※弘前公園の桜情報はインターネット(<http://www.hirosaki-park.or.jp/>)でも見られます。



期間中の臨時駐車場

□ 無料 有料

4月23日～5月5日

午後11時まで夜間照明を点灯

開会式	4月23日、午前10時～／下乗橋前
演芸場(護国神社前)	津軽の郷土芸能などを、まつり期間中随時披露
2010 津軽三味線全国大会	5月3日・4日、開場=午前9時、開演=午前9時20分／市民会館(下白銀町)／入場料…当日券=2,000円、両日券=3,500円
2010 津軽五大民謡大会	5月5日、開場=午前9時10分、開演=午前10時／市民会館(下白銀町)／入場料=1,000円

平成 22 年度 施政方針と 予算

市民の皆さんが健康で 安心して暮らせるように

市町村合併により新弘前市が誕生して5年目を迎えました。これまでの市政運営において大きな混乱もなく、おおむね順調に推移してきたものと思っております。

私は、市町村合併後の初代弘前市長として就任以来、これまで公約実現に向け、また、市民の皆様と一緒に策定しました「弘前市総合計画」に基づき、各種施策に誠心誠意取り組み、さまざまな課題を克服し、市長としての職責を果たしてこられたのも、議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力の賜物であり、心から感謝を申し上げます。私の基本理念は、市民参加

平成22年第1回市議会定例会の初日（3月2日）、相馬市長は、弘前市が今後1年間目指していく方向を示した「施政方針」について、「市民と行政がこれまで以上に協働しながら、効率的かつ効果的な行政運営に努めてまいります」という決意とともに演説を行いました。今回は、この「施政方針」と、市議会定例会で議決された各会計予算や主な事業を紹介します。

型の市政運営を心掛けることであります。市民と行政の適切な役割分担のもと、これまで以上に協働しながら、創意と工夫を凝らし、効率的かつ効果的な行政運営に努めていかなければなりません。市民と行政とが情報を共有し、共通の目的意識を持つて課題解決に当たることが大切であり、行政からは適時・的確に情報を提供し、市民の皆様のご意見やご提言に耳を傾け、政策決定の透明性を高めてまいります。

100年に一度とも言われる経済危機による景気低迷の中、少子高齢化の進行、行政需要の変化、財源不足など、地方自治体を取り巻く環境が厳しい状況下にあっても、市民は、生きがいや安心、希望を求めています。市民が健

康で安心して生活ができるよう、本市の特性を生かした魅力あるまちづくりに、引き続き取り組んでまいりたいと考えております。

地域経済の低迷などにより、市税収入の減少が予想される一方で、扶助費などの社会保障関係経費については、増加に歯止めがかからない状況にあり、引き続き行政改革の推進と財政の健全運営が求められております。

「弘前市総合計画」に基づく5つの政策目標の実現を目指し、「子育て環境の整備」「保健・医療の充実」「農林業の振興」「観光・物産の振興」の4つを重点施策に掲げ、さらには、市民生活の現状や市を取り巻く環境に適切に対処するため、「地域経済・雇用環境に配慮した対策」「市民が健康でいきいきと生活できる社会の実現」「東北新幹線新青森駅開業に向けた活動」「弘前城築城400年祭に関連した取り組み」の4つを重点領域と定め、切れ目なく事業を展開することによって、将来の展望が開かれるものと確信しております。

※「平成22年度施政方針及び予算大綱」から抜粋。

国保年金課からのお知らせ

国民健康保険料の軽減制度の創設

倒産・解雇などによる離職、 雇止めなどによる離職をした人へ

4月から、非自発的な理由により失業した人の国民健康保険料を軽減する制度が始まりました。

申請は随時受け付けています。該当する人は国保年金課へ申請してください。

▽対象 雇用保険の特定受給資格者および特定理由離職者（※）で、平成21年3月31日以降に離職した人（離職日において65歳以上の人を除く）

（※）雇用保険受給資格者証に記載されている離職理由コードが11、12、21～23、31～34の人です。

▽軽減期間 ①平成21年3月31日～平成22年3月30日に離職した人…平成22年度 ②平成22年3月31日以降に離職した人…離職日の翌日の属する月から翌年度末まで

〈例〉平成22年3月31日に離職した場合は平成22年度および23年度

ただし、勤務先で健康保険に加入するなど国民健康保険を脱退すると終了します。

▽軽減内容 国民健康保険料は、前年の所得などにより算定されます。軽減は非自発的失業者の前年の給与所得を100分の30とみなして行います。

軽減内容は個々により異なりますので、詳しくはお問い合わせください。

▽申請に必要なもの ①雇用保険受給資格者証（コピー可） ②印鑑 ③国民健康保険証（既に交付されている場合）

※申請日によって、軽減内容が反映される時期が遅れる場合もあります。あらかじめご了承ください。

▽問い合わせ・申請先 国保年金課国保保険料係（市役所1階、窓口158、☎40・7045）

国保給付制度の改正

4月から国保給付制度が次のとおり変更になります。

■非自発的失業者の負担区分

非自発的失業者（上記「国民健康保険料の軽減制度の創設」対象と同じ）の高額療養費などの自己負担限度額の区分は、前年（1月～6月に離職した人は前々年）の給与所得を100分の30とみなして計算します。

非自発的失業者を含む世帯で国保被保険者（擬制世帯主、特定同一世帯所属者〈※〉含む）全員の所得の合計額が、【33万円＋（国保被保険者数＋特定同一世帯所属者数）×35万円】を下回る場合は、低所得者として取り扱いします。また、上位所得者の所得判定の際にも、非自発的失業者の前年（1月～6月に離職した人は前々年）の給与所得は100分の30とみなして計算します。

（※）特定同一世帯所属者とは、75歳以上の長寿医療制度（後期高齢者医療制度）の対象者で、後期高齢者医療制度の加入前に、国民健康保険に加入して

いて、後期高齢者医療制度に加入後も同じ世帯に所属している人のことです。

■高額療養費の計算方法変更

平成22年3月診療分までは、旧総合病院（弘前大学附属病院、国立弘前病院、市立病院など）で外来の治療を受けた場合の診療報酬明細書（レセプト）は、診療科ごとに作成されていましたが、4月からは、1医療機関ごとに1枚の作成となりました。

これに伴い、70歳未満の人の高額療養費の計算が、診療科ごとではなく、1医療機関（歯科は除く）ごとに支払った金額が月額2万1,000円を超えた場合、高額療養費の計算対象となります。

高額療養費支給申請においての際は、1医療機関で違う診療科（歯科は除く）であっても、領収証を持参してください。計算方法が分からない場合は、領収証を持参の上、国保年金課窓口へご相談ください。

▽問い合わせ先 国保年金課国保給付係（市役所1階、窓口157、☎40・7047）

図表で見る

平成 22 年度予算

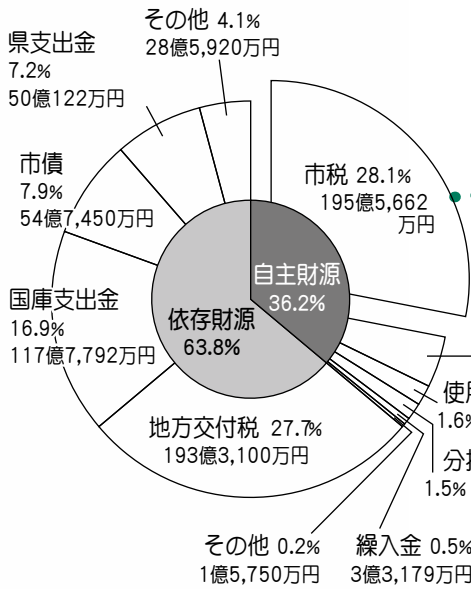
一般会計は 696 億 4,415 万 2 千円

平成 22 年第 1 回市議会定例会（3 月 24 日閉会）において、平成 22 年度の各会計の予算が議決されました。
22 年度一般会計の予算規模は、21 年度と比較すると、2.0%（13 億 9 4 1 5 万円）の増となりました。

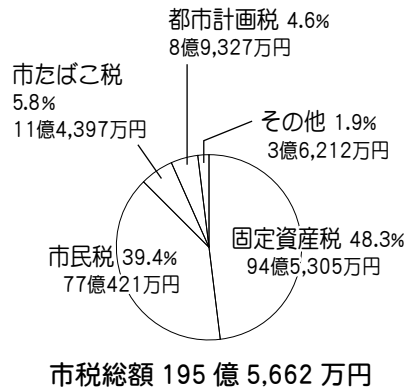
▼総務財政課財政係（☎ 35・1110）

一般会計歳入

696 億 4,415 万 2 千円



市税内訳



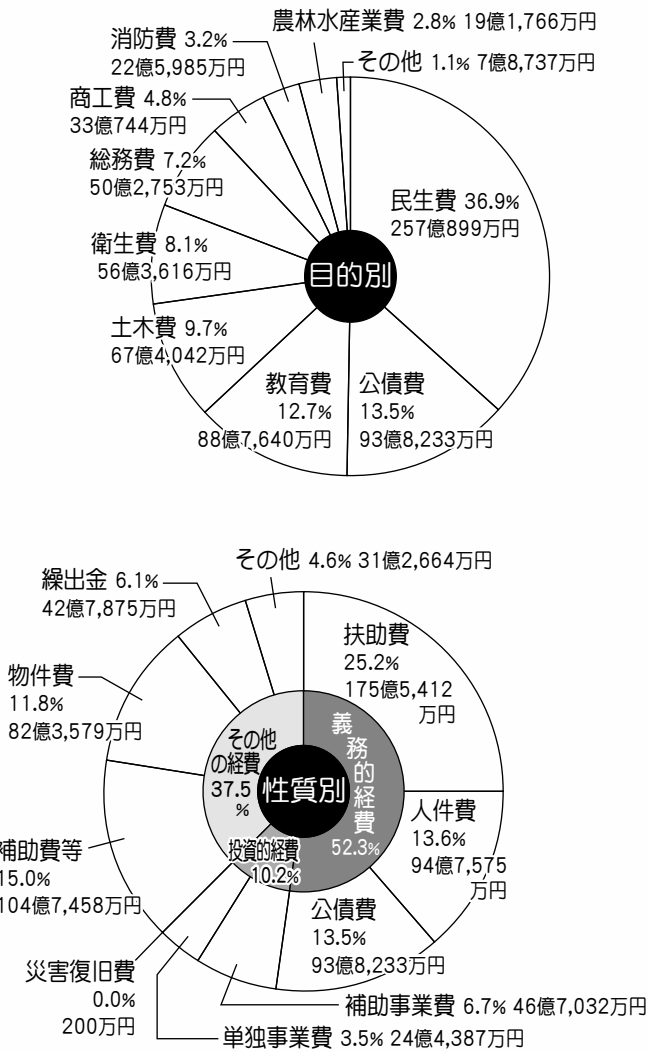
市税総額 195 億 5,662 万円
市民 1 人当たりの負担額 = 10 万 6 千円
対前年度比 ▲ 2 千円
1 世帯当たりの負担額 = 25 万 8 千円
対前年度比 ▲ 7 千円

【歳入の種類】

- 市 税…市民税や固定資産税など市民の皆さんからの税金
- 諸 収 入…給食費など、収入のどの区分にも属さないお金
- 使用料及…市の施設などの使用料や住民票などの手数料
- 分担金及…特定の事業の経費に充てるため、その事業の受益者び負担金 などからのお金
- 繰 入 金…基金から一般会計に組み入れるお金
- 地方交付税…市の財政状況に応じて国税の一部から交付されるお金
- 国庫支出金…特定の事業の経費に充てるため、国から支出されるお金
- 市 債…財務省や金融機関からの借入金
- 県支出金…特定の事業の経費に充てるため、県から支出されるお金
- そ の 他…自主財源では財産収入や繰越金、寄附金、依存財源では地方譲与税、地方消費税交付金など

一般会計歳出

696 億 4,415 万 2 千円



【性質別歳出の種類】

- 扶 助 費…保育所の運営や生活に困っている人などへ支出する経費
- 人 件 費…職員の給料や手当などの経費
- 公 債 費…借入金の返済に要する経費
- 補助事業費…国や県の補助を受けて、道路を造ったり、施設を建てたりする事業の経費
- 単独事業費…国や県の補助を受けないで、道路を造ったり、施設を建てたりする事業の経費
- 災害復旧費…洪水や地震などの災害によって被害を受けた施設などを復旧する経費
- 補助費等…公益的な事業などに対しての補助金や負担金など
- 物 件 費…市の仕事に必要な消耗品や備品などに要する経費、委託料、光熱水費など
- 繰 出 金…一般会計から特別会計などに支出する経費
- そ の 他…貸付金、維持補修費、出資金など

【目的別歳出の種類】

- 民 生 費…子どもやお年寄り、障害者への福祉などに要する経費
- 教 育 費…小・中学校の教育施設や文化の向上などに要する経費
- 公 債 費…借入金の返済に要する経費
- 土 木 費…道路や公園、区画整理やまちづくりに要する経費
- 衛 生 費…健康診断や予防接種、ごみの回収処理などに要する経費
- 総 務 費…庁舎の管理、戸籍、統計、徴税、選挙など市役所を運営するための全般的な経費
- 商 工 費…商業や工業、観光の振興、公園の維持などに要する経費
- 消 防 費…消防や救急、防災などに要する経費
- 農林水産業費…農産物の生産性向上や農村の整備などに要する経費
- そ の 他…議会費、労働費など

特別会計

会 計 別	予 算 額
国 民 健 康 保 険	226 億 7,716 万円
後 期 高 齢 者 医 療	15 億 2,910 万円
老 人 保 健	1,526 万円
介 護 保 険	143 億 5,785 万円
岩木観光施設事業	1 億 596 万円

財政メモ

平成 21 年度末の弘前市の借金に当たる市債残高見込は
1,636 億 9,939 万円 で
市民 1 人当たりでは = 88 万 8 千円
対前年度比 ▲ 1 万 3 千円
1 世帯当たりでは = 215 万 7 千円
対前年度比 ▲ 5 万 7 千円
となっています。

※図表の金額は 1 万円未満を四捨五入しているため、合計額が合わない項目があります。

▲市民 1 人当たり・1 世帯当たりの負担額は、単純に市税総額と人口・世帯数（平成 22 年 2 月 28 日現在）から算出したものです。

弘前市総合計画に掲げる目標「自然と
共に生きる豊かな産業・文化都市」の
実現のため取り組む重点施策事業

子育て環境の整備



一時預かり事業費補助金	2,294 万円
… 家庭での保育が一時的に困難なときの一時預かりの経費を助成	
延長保育促進事業費補助金	2 億 4,682 万 6 千円
… 保育所開所時間前後の延長保育実施経費を助成	
休日保育事業費補助金	1,905 万円
… 休日などの保育が困難なときの保育経費を助成	
病児病後児保育事業委託料	2 億 500 万円
… 発病時や回復期の児童の一時保育を実施	
保育所運営費	42 億 7,545 万円
… 公費負担により保育料軽減	
私立保育所整備事業費補助金	1 億 9,391 万 4 千円
(仮称)北児童センター建設事業	1 億 2,190 万 8 千円
子ども手当給付事業	21 億 1,737 万 8 千円
児童手当給付事業	11 億 3,741 万 7 千円
児童扶養手当費	11 億 932 万 5 千円

保健・医療の充実



市民健康まつり	315 万 6 千円
健康教育事業	305 万 9 千円
… 喫煙対策、自殺対策などの健康教育	
訪問指導事業	211 万 4 千円
… 生活習慣病者などへの訪問指導	
妊婦・乳児健康診査事業	1 億 2,082 万 3 千円
予防接種事業	1 億 7,398 万 3 千円
健康診査事業委託料	2 億 3,861 万 8 千円
(仮称)弘前大学医学部附属	6,774 万 5 千円
高度救命救急センター運営費補助金	
急患診療所運営費	7,292 万 4 千円
病院群輪番制病院運営費委託料	7,292 万 4 千円
… 夜間などの二次救急患者への輪番制診療を市内 5 病院に委託	
小児救急輪番制病院運営費補助金	4,409 万 4 千円
… 夜間などの小児二次救急輪番制病院の市内 2 病院に補助	
総合健康管理システム導入事業	1 億 4,359 万円
… 健診結果による保健指導情報や予防接種情報を総合的に管理	

▶健康に関するコーナーが盛りだくさんの「市民健康まつり」



平成 22 年度

主要事業と予算



平成 22 年度に、どんな事業にどれくらいの予算を使うのか、その一部を紹介します。

観光・物産の振興



ねぶたシンポジウム	50 万円
四大まつり	1 億 1,979 万 7 千円
… さくらまつり、ねぶたまつり、菊と紅葉まつり、雪燈籠まつり	
The 津軽三味線 2010 事業費補助金	350 万円
全日本りんご追分コンクール事業費補助金	150 万円
津軽ひろさき冬の旅実行委員会負担金	100 万円
観光ボランティアガイド養成事業	98 万 4 千円
津軽の食と産業まつり負担金	500 万円
弘前の物産と観光展事業費補助金	400 万円

▶弘前の夏の夜空を焦がす「ねぶたまつり」



その他の施策事業



義務教育施設耐震化工事	9 億 912 万 5 千円
津軽歴史文化資料展示施設整備基礎調査委託料	200 万円
… 高照神社所蔵文化財等の展示施設整備基礎調査を委託	
弘前市陸上競技場整備事業	1 億円
交通安全施設整備事業	1,800 万円
… 清野袋岩賀線、富田樹木線	
弘前駅南北地区土地区画整理事業	11 億 2,011 万 1 千円
中心市街地活性化広場公園整備事業	9,800 万円
… 弘前駅東口緑地、藤田記念庭園	
町会集会所設置事業等補助金	1,188 万円
住民税等電子化システム導入事業	990 万 3 千円
(仮称)相馬地区住民ふれあいセンター建設事業	8,204 万 6 千円

※このほか、国の補正予算による交付金を活用し、平成 21 年度予算を繰越し、平成 22 年度に実施する事業として、道路維持事業、排水路改良事業、市営住宅改修事業などを実施します。

市民生活の現状や市を取り巻く
環境の変化に適切に対処するた
めの重点領域事業

地域経済・雇用環境に配慮した対策

緊急離職者対策雇用奨励金	840 万円
新規高等学校卒業者雇用奨励金	90 万円
緊急地域雇用創出対策事業	2 億 1,505 万 7 千円
… 緊急雇用創出事業 (市道整備関連遺跡発掘調査事業など 新規雇用 119 人)	
… ふるさと雇用再生特別基金事業 (新規就農者育成・確保対策事業など 新規雇用 32 人)	
… 重点分野雇用創造事業 (弘前城築城 400 年祭情報発信事業など 新規雇用 8 人)	
農業経営支援対策資金保証料及び 利子補給補助金	551 万円
中小企業経営安定資金保証料補助金	7,004 万 4 千円
… 信用保証料 1 / 2 助成から全額助成に拡充	

市民が生涯を通じて健康でいきいきと生活できる社会の実現を目指す対策

介護予防普及啓発事業	540 万円
… おたっしや健幸塾、介護予防相談会、地区健康教育など	
地域福祉推進事業費補助金	228 万円
… 在宅患者訪問歯科診療事業費補助金、健康・生きがいづくり推進事業費補助金	

東北新幹線新青森駅開業に向けた活動

新幹線開業対策事業	4,796 万 9 千円
… 観光キャンペーン (新幹線 PR 用パンフレット・ポスター作成、新幹線開業イベント経費、まちなか散策推進事業負担金、観光資源ライトアップ推進事業、(仮称)東京ねぶた実行委員会負担金、弘前りんごで持てなし支援事業費補助金など)	
グリーン・ツーリズム推進事業	66 万円
… 実践団体の活動 PR 経費および旅館業許可申請経費を助成	

弘前城築城 400 年祭に関連した取り組み

弘前城築城 400 年祭実行委員会負担金	4,200 万円
… オープニングイベントなど	
弘前公園ライトアップ整備事業	3,150 万円
弘前城雪燈籠まつり津軽錦絵大回廊事業	200 万円
弘前藩よろずツアー事業費補助金	30 万円
博物館・企画展『津軽に眠る名宝展』	173 万 3 千円
関連事業	
鷹揚公園整備事業	1 億 2,400 万円
仲町伝統的建造物群保存地区武家住宅 復元事業	2,612 万 5 千円

業務の予定量

排水処理件数	64,636 件
年間総処理水量	21,838,000 m ³
一日平均処理水量	60,000 m ³

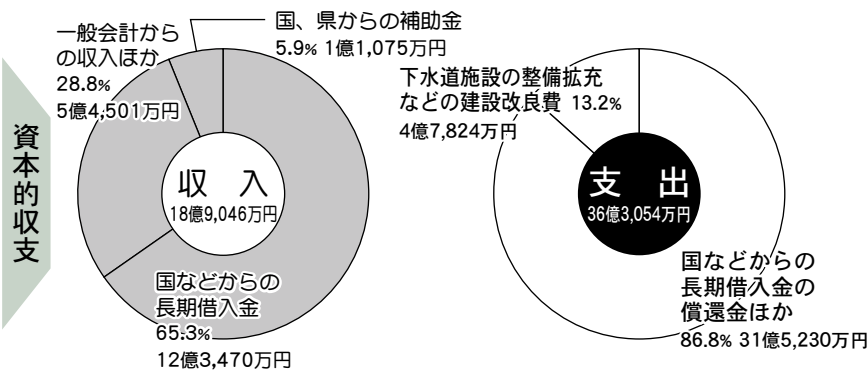
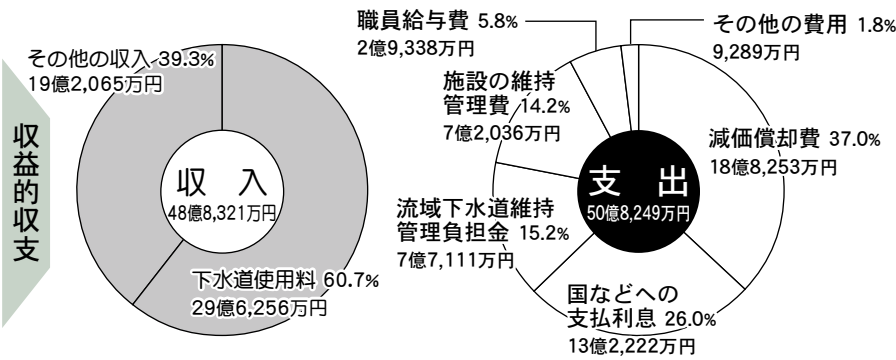
※一日平均処理水量は 1,000 m³以下を四捨五入により算出しています。

平成 22 年度

下水道事業

平成 22 年度当初予算と業務計画をお知らせします（1 万円未満は四捨五入）。詳しい内容は、上下水道部（☎ 36・8100）へお問い合わせください。

平成 22 年度当初予算



主な建設改良事業計画

公共下水道事業建設費	2 億 7,408 万円
下水道管布設（4 地区）	管延長 539m
農業集落排水事業建設費	9,974 万円
裾野新和北地区下水道管布設	管延長 742m
流域下水道建設負担金	9,150 万円



処理場の見学もできます

業務の予定量

区分	給水戸数	年間総配水量	一日平均配水量
上水道	72,236 戸	18,902,162 m ³	51,787 m ³
簡易水道	2,410 戸	943,319 m ³	2,584 m ³
合計	74,646 戸	19,845,481 m ³	54,371 m ³

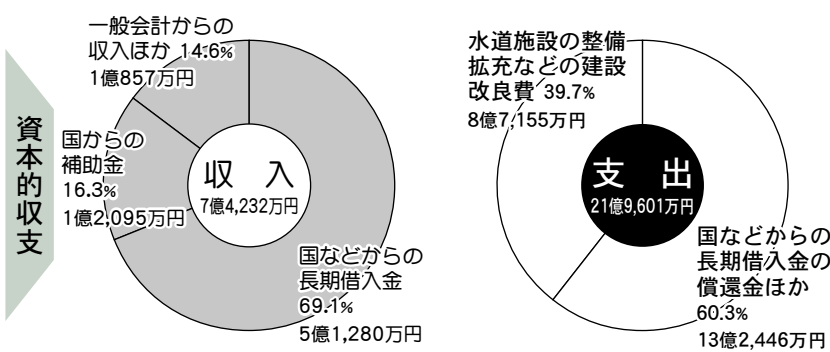
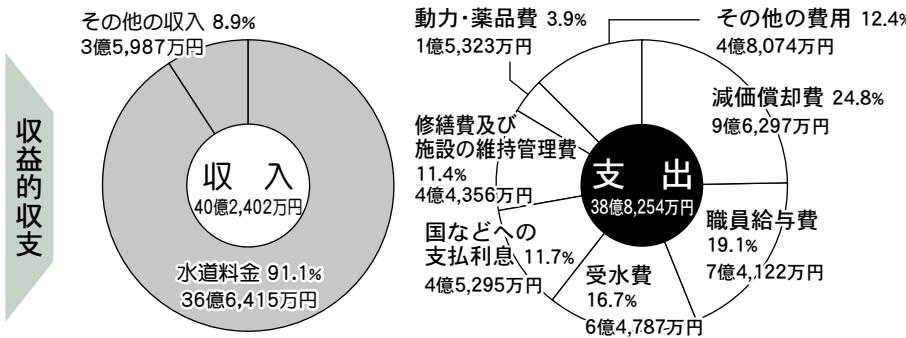
※一日平均配水量は小数点以下を四捨五入により算出しています。

平成 22 年度

水道事業

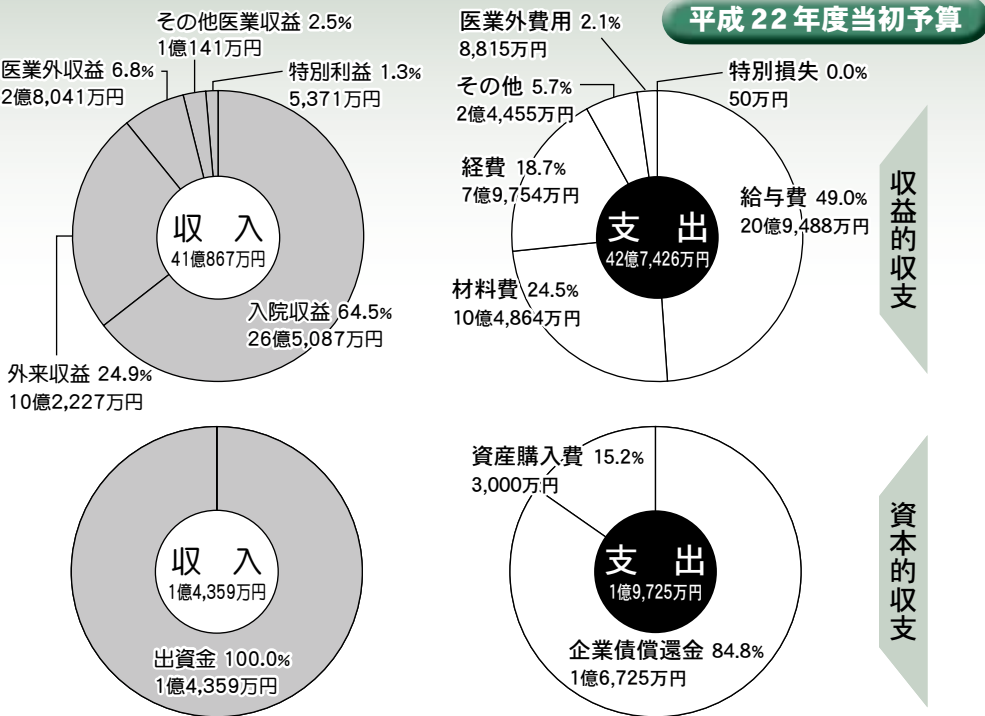
平成 22 年度当初予算と業務計画をお知らせします（1 万円未満は四捨五入）。詳しい内容は、上下水道部（☎ 36・8100）へお問い合わせください。

平成 22 年度当初予算



主な建設改良事業計画

上水道施設整備事業	1 億 7,505 万円
配水管布設・布設替延長（5 地区）等	総延長 1,585m
上水道第 4 期拡張事業	2,913 万円
配水管布設延長（1 地区）	総延長 250m
上水道老朽管更新事業	4 億 3,170 万円
石綿セメント管布設替延長（17 地区）	総延長 4,025m
上水道水源開発事業	
津軽ダム建設負担金	9,284 万円
簡易水道施設整備事業	4,256 万円



診療科目

内科	小児科	外科
整形外科	産婦人科	眼科
耳鼻いんこう科	リハビリテーション科	麻酔科

業務内容

看護基準	7 対 1 看護
一般病床数	250 床

平成 22 年度の主な事業

医療機器及び備品購入	3,000 万円
自動体外式除細動器など	16 品目 23 点



平成 22 年度当初予算と業務計画をお知らせします（1 万円未満は四捨五入）。詳しい内容は、市立病院総務課（☎ 34・3211）へお問い合わせください。

病院事業

平成 22 年度

第2次行政改革大綱

策定しました

新弘前市が行政改革の基本方針とした「弘前市行政改革大綱」の計画期間は3月末に終了しましたが、引き続き厳しい財政状況が続くことを踏まえ、行政改革を継続し、市民サービスの向上を図りつつ、行政コストの削減を進めることが必要であるとの考えから、「弘前市行政改革大綱」を継承した「第2次弘前市行政改革大綱」を策定しました。今号ではその概要を紹介します。

■問い合わせ先 人事課事務管理担当（☎35・1170）

これまでの取り組み

平成18年2月27日の市町村合併後、新しい弘前市が合併効果を十分に発揮するため、平成19年12月に行政改革大綱（計画期間：平成19年～21年度）を策定し、行政改革を推進してきました。

この成果（見込み）として、実施計画「集中改革プラン」の達成見込みが87・9%、職員削減数は当初計画の26人を上回る67人（見込み）となっています。これら行政改革の

取組期間

第2次行政改革大綱の取組期間は、総合計画の基本構想の終了年度に合わせ、平成22年～27年度（6年間）としました。

実施計画

大綱の実施計画として、前期実施計画を策定しました。その取組期間は、総合計画の

前期基本計画の終了年度に合わせ、平成22年～23年度（2年間）としました。取組項目については、集中改革プランから継続する59項目に新規の31項目を加えた合計90項目を実施します。

主な取り組み

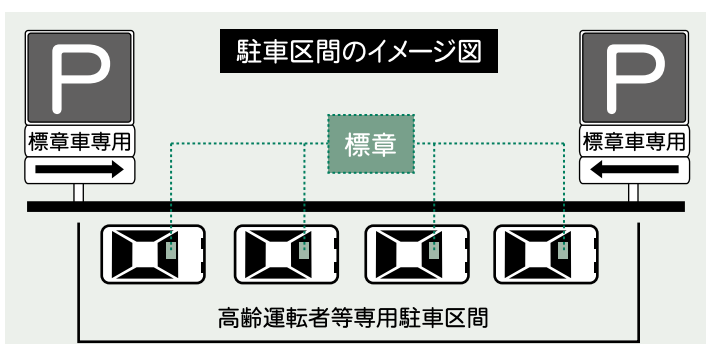
- 業務の民間委託化
- 新設する施設への指定管理者制度導入の推進
- 市民サービスのさらなる向上を図るため、指定管理者が管理している施設で利用者アンケートを実施
- 岩木山百沢スキー場の経営改善
- 市が設置する4スキー場全体の在り方について再構築
- 公共施設の施設設置の見直しおよび統合・廃止
- 非常勤の行政委員の月額報酬の見直しの検討
- 市民と行政との協働によるまちづくりを推進するための指針の策定の検討
- 職員数削減目標：21人
- 経費削減などの財政効果：16億6300万円
- 大綱および実施計画は市のホームページのほか、市役所1階ロビー・3階情報公開コーナーで閲覧できます。

高齢運転者等専用駐車区間制度の実施

4月19日から開始

高齢運転者などの交通事故防止の一環として、道路交通法の一部が改正され、4月19日から、道路上に高齢運転者や身体の不自由な人、妊娠している人などを対象とした専用駐車区間が設置されることになりました。

この場所に駐車を希望するときは、弘前警察署から「専用場所駐車標章」の交付を受けて、ご利用ください。



▽設置場所（下図参照）

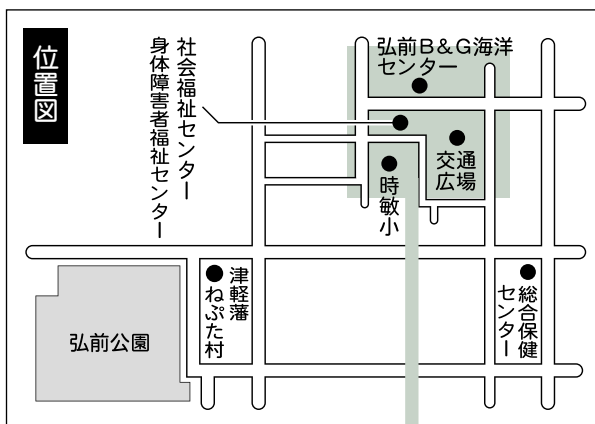
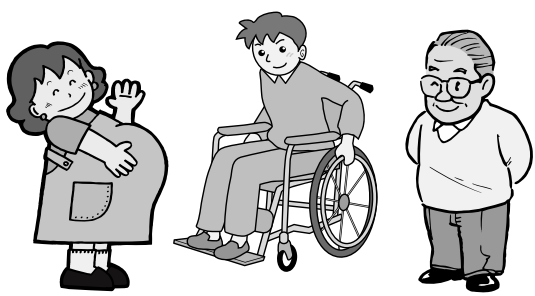
- ①宮園2丁目7、弘前B&G海洋センター前（4台分）
- ②八幡町1丁目9の17、身体障害者福祉センター前（4台分）

▽対象 標章を申請できる次の人

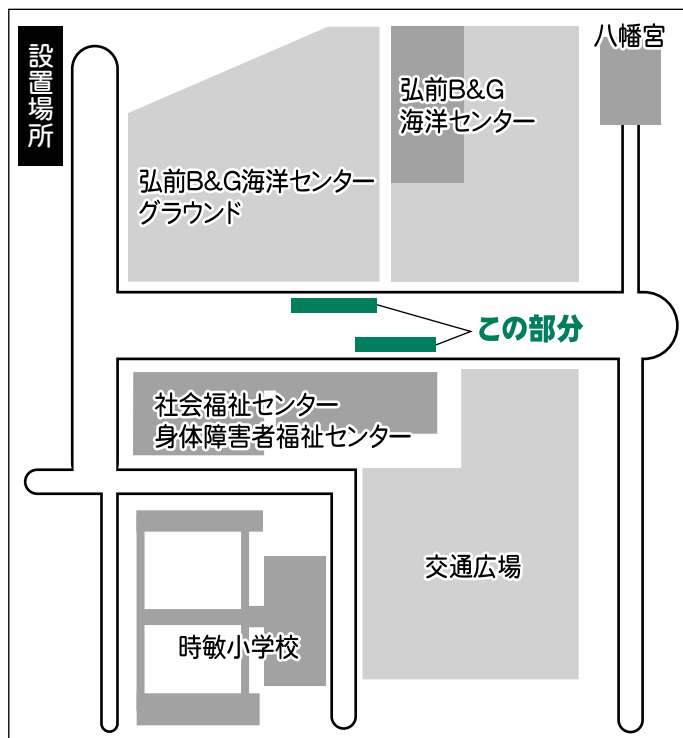
- ①高齢者マークの対象者（70歳以上の人）
- ②障害者マーク・聴覚障害者マークの対象者
- ③妊娠中または出産後8週間以内の人

※標章の交付受け付けは、4月19日から、弘前警察署（八幡町3丁目）1階交通第二課窓口で行います。

▽問い合わせ先 弘前警察署 交通第二課（☎32・0111）



緑部分の拡大図



「弘前市地域防災計画」を修正しました

「弘前市地域防災計画」は、災害対策基本法（昭和36年法律第223号）第42条の規定に基づき、平成19年2月に弘前市防災会議が作成した計画です。

この計画は、国の「防災基本計画」、県の「青森県地域防災計画」と連携した地域計画として位置付けし、本市の地域における災害予防、災害応急対策、災害復旧対策に関して必要な事項について規定しています。

平成19年2月の計画作成後、国の「防災基本計画」や「青森県地域防災計画」が修正されたことから、これらの計画に基づいた修正を行うとともに、企業防災の促進や被災動物対策について追加しました。また、災害時要援護者などの各種ガイドラインの策定や、洪水予報などの発令基準の改正、水防法などの関係法令の改正などが行われたことから所要事項について修正を行いました。

なお、弘前市地域防災計画は市ホームページに掲載しています

ので、避難場所の確認を行うなど、家庭や事業所において、いま一度防災について話し合ってみてはいかがでしょうか。

■問い合わせ先 企画課企画担当（☎35・1123）



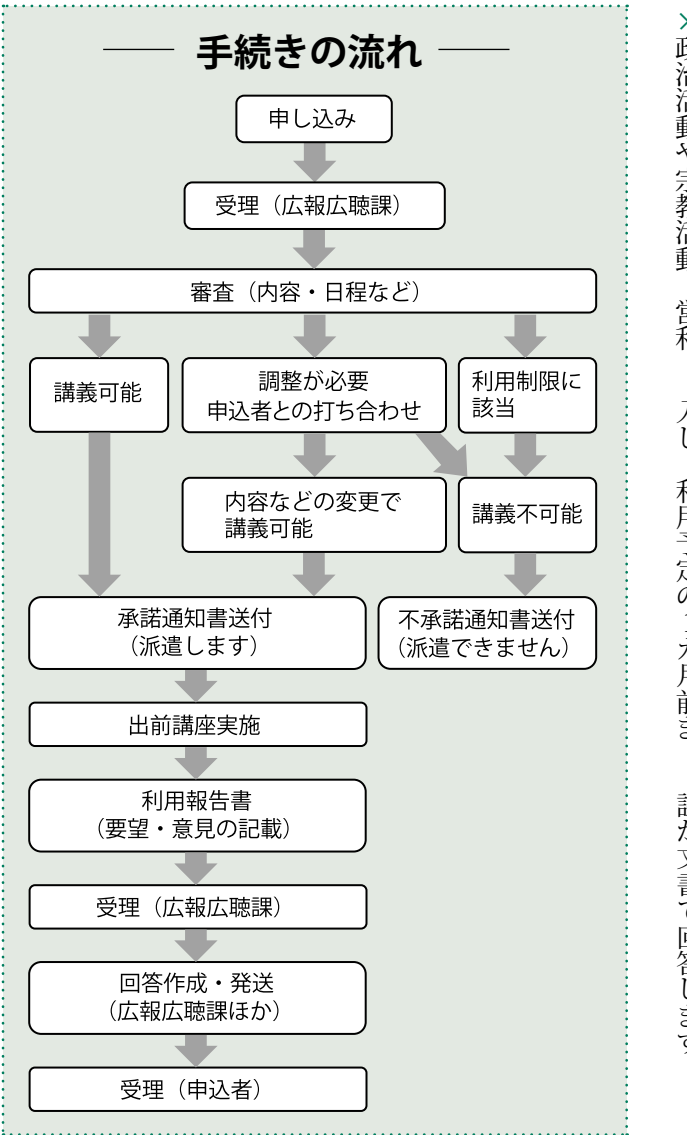
No.	講座名	主な内容	担当課等
1	弘前市総合計画	弘前市総合計画の内容について	企画課
2	行政評価システムについて	行財政総合管理システムによる総合計画の進行管理などの取り組みについて	企画課
3	雪への取り組み	弘前市の雪対策について	企画課
4	地域防災対策	地域や家庭で行う災害への備えと防災活動について	企画課
5	弘前市国民保護計画	弘前市国民保護計画の内容について	企画課
6	男女共同参画社会	男女共同参画社会実現に向けての取り組み	企画課
7	みんなで考えよう！くらしの中の公共交通	路線バスをはじめとする公共交通の現状と活性化について	企画課
8	弘前市地域新エネルギービジョン	弘前市地域新エネルギービジョンの内容について	企画課
9	弘前市の財政	市の予算編成 財政の現状	総務財政課
10	情報公開制度のしくみ	情報公開制度の利用方法について	総務財政課
11	弘前市の個人情報保護のしくみ	制度の内容について	総務財政課
12	弘前市の地域情報化	ICTを活用した取り組み・地域情報化計画	情報政策課
13	弘前市の行政改革	行政改革の取り組みについて	人事課
14	弘前市の行政組織	市の組織・事務について	人事課
15	指定管理者制度	指定管理者制度について	人事課
16	税金のしくみⅠ	市民税・県民税の計算方法 申告書の書き方	市民税課
17	税金のしくみⅡ	土地や家屋の税金の決め方	資産税課
18	市税の収入	市民税、固定資産税の収入実績など	収納課
19	高齢者等の交通安全	高齢者等が交通事故に遭わない、起こさないためのポイント	市民生活課（安全安心対策担当）
20	わかりやすい戸籍の届出	戸籍のしくみ 各種届出の書き方	市民課
21	分別ごみとリサイクル	ごみ収集の現状 分別ごみのゆくえ、ダンボールコンポストの活用など	環境保全課
22	地球温暖化とくらし	地球温暖化による問題とわたしたちにできること	環境保全課
23	クイズで楽しくエコライフ！	地球温暖化について、クイズで楽しく学びます	環境保全課
24	弘前市環境マネジメントシステムについて	環境マネジメントシステムの概要	環境保全課
25	弘前市の広報広聴活動	市の行っている広報と広聴活動	広報広聴課
26	障害者の福祉	障害者の認定と申請 各種制度・サービス	福祉総務課
27	成年後見制度について	制度の概要と市長による審判の申立てなど	福祉総務課
28	保育所のはなし	保育料の決定方法 入所状況	児童家庭課
29	児童の福祉Ⅰ	児童館・児童センターの事業と利用方法 放課後児童会の活動と入会方法	児童家庭課
30	児童の福祉Ⅱ	子ども手当と特別児童扶養手当の受給資格など	児童家庭課
31	児童の福祉Ⅲ	身近にある子育て支援事業と児童の健全育成について	児童家庭課
32	母子等の福祉Ⅰ	児童扶養手当とひとり親家庭等医療費の受給資格など	児童家庭課
33	母子等の福祉Ⅱ	DV（ドメスティックバイオレンス）と児童虐待について	児童家庭課
34	青少年健全育成	非行の現状 非行防止対策 環境浄化対策	少年相談センター
35	介護保険制度のしくみ	介護保険制度の概要	介護保険課
36	国民健康保険制度のしくみ	保険料の決め方 医療給付の内容 国保の届出手続き	国保年金課（国保担当）
37	後期高齢者医療制度のしくみ	制度の概要	国保年金課（国保担当）
38	国民年金制度のしくみ	各種届出 受給資格 保険料の納付方法	国保年金課（国民年金担当）
39	健康づくり講座	内臓脂肪と高血圧、たばこと健康問題、うつ病の予防、認知症を支える正しい理解	健康推進課
40	子育て講座	祖父母のための子育て講座、乳幼児期の子育て講座	健康推進課
41	健康な食生活講座	妊婦の食生活、生活習慣病予防の食生活、高齢者の食生活、親子で見直す食生活、幼児・学童・思春期の食生活	健康推進課
42	予防接種について	予防接種の種類、定期的対象年齢、接種間隔、一般的注意事項について	健康推進課
43	農業経営者応援講座	認定農業者制度・農業金融制度の概要 農業経営改善計画の作り方	農政課
44	農家の家族経営協定のはなし	家族経営協定とは 協定書の締結まで	農業委員会事務局
45	中小企業のための融資制度	主な融資・助成制度について	商工労政課
46	中心市街地の活性化	中心市街地活性化基本計画の概要と取り組み	商工労政課
47	弘前オフィス・アルカディア	オフィス・アルカディア事業の概要	商工労政課
48	弘前感交劇場	津軽地域全体を一つの劇場ととらえ、観光客と地域住民がともに共感共鳴できる、「感動と交流」の旅のスタイルを展開する、弘前の新たな観光施策	観光物産課
49	弘前市の四大まつり	主なお祭りのいろいろ	観光物産課
50	弘前市の特産品	弘前の特産品いろいろ	観光物産課
51	弘前公園のサクラ	サクラの歴史と管理の工夫について	公園緑地課
52	弘前公園の古木名木	弘前公園にある歴史的な古木名木の紹介	公園緑地課
53	緑化推進について	くらしに役立つ緑の働きと重要性など	公園緑地課
54	弘前市の保存樹木	大切にしたい保存樹木をスライドなどで紹介	公園緑地課
55	弘前城植物園の楽しみ方	植物の種類と花の見ごろ	公園緑地課
56	私道整備の補助制度	制度の概要 事業の進め方 負担割合	土木課
57	くらしの中の雪対策	除排雪の方法、消・流雪溝・雪置き場の利用について	道路維持課
58	地震からわが家を守ろう	木造住宅の耐震診断と耐震改修について	建築指導課
59	都市計画事業について	都市計画道路や都市公園の現状と計画について	都市計画課
60	都市計画とまちづくり	都市計画の仕組みとまちづくりについて	都市計画課
61	弘前市の都市景観	都市景観形成の歩みと取り組み	都市計画課
62	水道とくらし	水が蛇口から出るまで	上下水道部総務課
63	市議会のしくみ	市議会の進め方 市政と市議会の関係	議会事務局
64	弘前市の社会教育	社会教育事業あれこれ 生涯学習と社会教育	生涯学習課
65	はじめよう！ボランティア	ボランティアの楽しみ方と活動あれこれ	生涯学習課
66	公民館は学びの支援隊	公民館で行っている講座の紹介	中央公民館
67	健康体操講座	手軽に出来る健康体操	保健体育課
68	選挙のしくみ	選挙の概要と選挙運動などについて	選挙管理委員会事務局
69	防火の豆知識	火災などに対して身近に知っておきたいこと	消防本部
70	住宅防火対策	住宅用火災警報器などの防災機器の種類、しくみ、取り付け方など、住宅火災から身を守るための対策について	消防本部
71	あなたも出来る応急手当	応急手当、救急蘇生法（AEDを含む）、119番への通報要領	消防本部

豊富なメニューでお待ちしています

出前講座

市では、市民と行政との協働を目的に「弘前市出前講座」を実施しています。
より多くの皆さんの意見を市政に反映させるため、下記のとおり実施していますので、どうぞ気軽にご利用ください。

■問い合わせ・申込先 広報広聴課広聴係（〒036・8551、上白銀町1の1、☎35・1194、ファクス 35・0080）



■**出前講座ってなあに？**
市民の皆さんがメニュー（左ページの一覧表）から選んだ講座について、市が行っている施策や制度などを、市の職員が指定の場所に出向き、分かりやすく説明します。

■**誰でも利用できるの？**
市内に在住、または通勤・通学する5人以上のグループなら、誰でも利用できます。ただし、次のような場合は利用できません。
× 公の秩序を乱したり、善良な風俗を阻害する恐れがあるとき
× 政治活動や宗教活動、営利

活動を目的とした催しのとき
× 本講座の趣旨に反するとき

■**利用日と時間は？**
年末年始（12月29日～1月3日）を除く、午前9時～午後9時の2時間以内です。土・日曜日、祝日も利用できます。

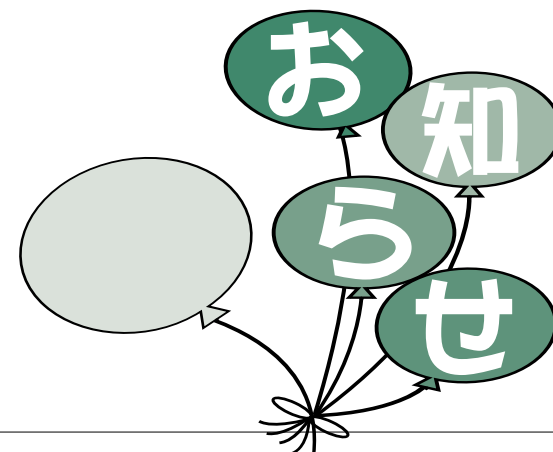
■**会場の準備などは？**
受講を希望するグループで用意（原則として市内）。
■**利用料はいくら？**
無料です。ただし、材料などはあらかじめ準備してもらう場合があります。

■**申し込み方法は？**
利用申込書に必要事項を記入し、利用予定の1ヵ月前ま

でに広報広聴課（市役所2階、窓口258）へ。ファクス、郵便での申し込みも受け付けます。

※利用申込書は、広報広聴課のほか、岩木・相馬の各庁舎に用意しています。また、市のホームページからもダウンロードできます。

■**ご意見をお聞かせください**
より多くの市民の皆さんの意見を市政に反映させるため、講座終了後に利用報告書の提出をお願いしています。講座のテーマに関する意見や要望などがありましたら記入してください。後日、担当課が文書で回答します。



お詫びと訂正

広報ひろさき3月15日号と同時配布の平成22年度「健康と福祉ごよみ」8ページに掲載している、河内小児科・内科クリニックの麻しん風しん3期4期の欄に「○男子のみ」とあるのは、「○4期は男子のみ」の誤りでした。また、29ページに掲載している、アップロードクリニックの電話番号が、「☎89・1700」とあるのは、「☎89・1239」の誤りでした。お詫びして訂正します。

消防観閲式

青森県消防協会中弘支部の定期観閲式が、市役所周辺や弘前公園内で行われます。消防団員の機械点検や部隊行進のほか、歴史と伝統を誇る日本一のまとい振り、はしご乗りの演技を披露します。

▽とき 5月5日(水)
午前7時

▽内容

第1会場Ⅱ市役所周辺(午前7時開始)：機械点検、放水訓練、分列行進
第2会場Ⅱ弘前公園内(午前9時開始)：人員服装点検、まとい振り、はしご乗り演技、式典

【交通規制にご協力を】

当日、会場周辺は一般車両の通行が規制されますのでご協力をお願いします。

▽交通規制区域と時間 市役所前、弘前文化センター(下白銀町)外堀沿い、午前6時15分～9時

■問い合わせ先 消防本部警防課(本町、☎32・5103)

催し

第22回弘前市岩木全国風揚げ大会

残雪を頂く岩木山のふもとに、津軽風のほか全国各地の風(たこ)が集合します。津軽平野の上空に舞う、色とりどり、小さきさまざまな風をお楽しみください。当日は、小学生以下の来場者(先着50人)に風をプレゼントします。

▽とき 5月4日(火・みどりの日)の午前10時

▽ところ 岩木B&G海洋センター(兼平字猿沢)

▽問い合わせ先 第22回弘前市岩木全国風揚げ大会実行委員会事務局(☎82・2394)

教室・講座

ちびっくラグビー教室

▽とき 4月18日～平成23年2月20日の毎週日曜日、午前9時半～正午
▽ところ 城東公園多目的広場(末広4丁目、総合学習セ

市職員募集

医療職(薬剤師・臨床検査技師)の職員を募集します。

受験希望者は、人事課(市役所3階、窓口302)で交付する受験申込書に必要事項を記入し、5月10日(必着)までに提出してください。受け付けは、土・日曜日、祝日を除く午前8時半から午後5時15分までです。

郵送の場合も、5月10日までに到着したものに限り受け付けます。

▽資格 日本国籍を有し、昭和51年4月2日以降に生まれた人で、それぞれの免許を既に有する人または薬剤師は平成22年5月31日までに、臨床検査技師は平成23年5月31日までに免許取得見込みの人
▽採用予定 薬剤師=2人/臨床検査技師=2人

▽試験日 5月22日(土)

▽ところ 市役所(上白銀町)

▽試験科目 薬剤師=性格検査・面接試験・専門試験/臨床検査技師=性格検査・面接試験・短大卒業程度の教養試験

▽合格発表予定日 6月10日(木)

▽問い合わせ先 人事課職員係(〒036・8551、上白銀町1の1、☎35・1119)

※募集要項は、市のホームページにも掲載しています。

清水交流センターの教室

【かわいい「和小物」作り】
簡単にできるあつたかくてかわいい「和小物」をみんな楽しく作ってみませんか。
▽とき 5月7日・14日・21日・28日、6月4日・11日・18日・25日(計8回)、午前9時半～正午
▽ところ 清水交流センター

ソフトバレーボール教室

▽とき 5月7日・14日
午後7時～9時

▽問い合わせ先 清水交流センター(☎87・6611)
※月曜日と祝日の翌日は休館。

プールで体力づくり教室

海洋センター(☎33・4545)

▽とき 5月10日～6月14日の毎週日曜日、午前10時半～11時半
▽ところ 河西体育センター(石渡1丁目)

▽内容 水中での体操・ウォーキング・ストレッチ、簡単な筋力トレーニング、ゲームなど
▽対象 市民15人
▽参加料 無料(スポーツ傷害保険に加入を)
▽申し込み方法 往復はがきに、住所・氏名・生年月日・電話番号・教室名を記入し、4月24日(必着)までに、河西体育センター(〒036・8316、石渡1丁目19の1)へ。

※はがき1枚で1人までとし、応募多数の場合は抽選で決定します。

▽問い合わせ先 河西体育センター(☎38・3200)

二ーハオ中国語教室

▽とき 5月10日～10月14日(週1回、全16回)
▽教室・曜日・時間
①入門1：月曜日の午前10時15分～11時45分

●●●宝くじの益金●●●

～集会施設を設置～

財団法人自治総合センターでは、宝くじの普及広報事業の一環として、市町村や町会などのコミュニティ組織が主体となって実施する地域活動に対し、各種助成金を交付しています。

平成21年度は次の事業が採択され実施されました。

【コミュニティセンター助成事業】
助成を受け、地域住民のコミュニティ活動の拠点となる集会施設として、樹木町会は「樹木会館」、藤内町会が「藤内町集会所」をそれぞれ設置しました。

▽問い合わせ先 市民生活課市民生活係(☎35・1664)



【樹木会館】



【藤内町集会所】





4月23日～5月12日

こどもの読書週間

～今年は『国民読書年』～

「こどもの読書週間」と4月23日の「子ども読書の日」にちなんだ行事を開催します。詳しくは各図書館へ問い合わせを。

【弘前図書館（下白銀町、☎32・3794）】

●絵本と紙芝居の展示・貸し出し

▽期 間 4月16日～5月19日の午前9時半～午後7時（土・日曜日、祝日は午後5時まで。毎週月曜日は休館）

▽ところ 弘前図書館児童書コーナー

▽テーマ 「自然」

●乳幼児のためのおはなし会

▽と き 5月8日（土）
午前10時半～11時

▽ところ 弘前図書館おはなしコーナー

▽内 容 千葉仁子さんによる乳幼児とお母さんのためのお話、絵本の選び方についてのアドバイス

【岩木図書館（賀田1丁目、☎82・1651）】

●本（世界の民話）の展示

▽期 間 4月23日～5月12日の午前9時～午後7時（土・日曜日、祝日は午後5時まで。毎週月曜日は休館）

▽ところ 岩木図書館

●青森県の民話の語り聞かせ

▽と き 4月24日、5月1日・8日
午前10時半～11時

▽ところ 岩木図書館

●親子で絵本をつくろう

▽と き 5月5日（水）
午前9時～

▽ところ 岩木図書館

▽定 員 10組（先着順）

▽材料費 1組300円



▽参加料 無料
▽持ち物 筆記用具
▽受け付け開始 4月27日、午前8時半～
※定員になり次第締め切り。
電話での申し込みも受け付けます。
▽問い合わせ・申込先 学習情報館（総合学習センター内、☎26・4800）
※本年度から、インターネットおよびメールについては別講座になります。

体操教室

【幼児体操教室】

▽と き 5月14日～7月2日の毎週金曜日、午後3時～4時
▽対 象 4・5歳の幼児 30人

【親子体操教室】

▽と き 5月11日～7月13日の毎週火曜日、午後3時～4時
▽対 象 3歳児とその親 20組

【小学生体操教室】

▽と き 5月11日～7月13日の毎週火曜日、午後4時～5時
▽対 象 小学校1・2年生 30人

【共通事項】

▽ところ 市民体育館（五十石町）
▽内 容 マット運動、跳び箱、ボール運動、平均台など
▽参加料 無料（スポーツ安全保険に加入を）
▽問い合わせ・申込先 4月20日から、笹森記念体育館（下白銀町、☎37・5508）へ。

初心者水泳教室

▽と き 5月10日～6月10日の毎週月・木曜日、午後1時～2時

▽ところ 温水プール石川（小金崎字村元）

▽内 容 水慣れから簡単な水中体操、泳げるようになるまで

▽対 象 市民 15人

▽参加料 無料（スポーツ安全保険に加入を）

▽申し込み方法 往復はがきに、住所・氏名・生年月日・電話番号・教室名を記入し、4月26日（必着）までに温水プール石川（〒036・8123、小金崎字村元125）へ。
※はがき1枚で1人まで。応募多数の場合は抽選で決定。
▽問い合わせ先 温水プール石川（☎49・7081）

水中ウォーキング

体験教室

【河西体育センター（石渡1丁目）】

▽と き 5月11日～6月1日の毎週火・金曜日、午後1時～2時
▽対 象 おおむね60歳以上の市民 15人

【温水プール石川（小金崎字村元）】

▽と き 5月13日～6月17日の毎週木曜日、午前10時～11時

▽対 象 おおむね60歳以上の市民 20人

【共通事項】

▽内 容 水中ウォーキングの基本から応用、ストレッチ、簡単な筋力トレーニング、ゲームなど

▽参加料 無料（スポーツ傷害保険に加入を）

▽申し込み方法 往復はがきに、住所・氏名・生年月日・電話番号・教室名・施設名（河西体育センターまたは温水プール石川）を記入し、4月24日（必着）までに、河西体育センター（〒036・8316、石渡1丁目19の1）へ。
※はがき1枚で1人までとし、応募多数の場合は抽選で決定します。
▽問い合わせ先 河西体育センター（☎38・3200）

朗読奉仕員講習会

弘前愛盲協会では、視覚障害者のための声の広報などを作成する、朗読奉仕員の講習会を開催します。

▽と き 5月11日～6月15

を。

※事前試験の会場など詳細は返信用はがきでお知らせします。

▽問い合わせ先 身体障害者福祉センター（☎36・4521、ファクス32・1144）

レディースかんたんトレーニング教室

▽と き 5月13日～7月15日の毎週木曜日、午前10時～11時半

▽ところ 市民体育館（五十石町）

▽内 容 ストレッチ体操、雑誌やペットボトルを使っての簡単トレーニング、ユニカール、ラケットテニスなどの

市民ボランティアによるパソコン講座

学ぶ市民のためのパソコン講座です。

【はじめてのパソコン講座】

▽と き 5月14日・21日・28日の午前10時～正午

▽ところ 総合学習センター（末広4丁目）

▽内 容 パソコンの基本操作、文字入力

▽対 象 パソコン初心者の市民 30人

▽参加料 無料

▽持ち物 筆記用具

▽受け付け開始 4月27日、午前8時半～

※定員になり次第締め切り。電話での申し込みも受け付けます。

▽問い合わせ・申込先 学習情報館（総合学習センター内、☎26・4800）

※本年度から、インターネットおよびメールについては別講座になります。

市民の皆さんが企画・実施する事業を募集しています

協働による地域づくり支援補助金

市では、新市の一体感の醸成や地域の振興を目指し、市民の皆さんが主体となって取り組む協働による地域づくり事業などの経費の一部に対し補助金を交付します。

ぜひこの補助金を活用して、地域が元気になるような楽しい事業を企画しませんか。

■補助対象 市内に居住または通勤・通学する人が主たる構成員である団体

※営利を目的とする団体などは該当なりません。

■補助対象事業 平成22年6月1日から平成23年3月31日の間に実施する、市民が主体となって行う協働による地域づくり事業

【事業イメージ】

「地域を活性化させる事業」「地域内の人の交流が図られる事業」「地域の特色を出すことができる事業」「住民による労力提供がある事業」などのほか、さまざまなアイデアによる協働事業を募集しています。

■補助金額 補助対象経費の10分の8まで（上限30万円）

※補助対象経費…事務用品、会場費、講師謝礼など事業の実施に必要な経費（食糧費、人件費、備品購入費などは含みません）。

■応募方法 指定の申請書などの書類を、5月28日までに企画課へ提出してください。

※申請書などは企画課に用意しています。

■その他 応募多数の場合は、選考により決定することがあります。不明な点がある場合はお問い合わせください。

■問い合わせ・申込先 企画課地域振興担当（市役所3階、☎40・7021）

岩木地区の指定区域で 一戸建て住宅の建築が可能になりました

市では、農村部の地域コミュニティの維持や活性化を図るため、岩木地区の市街化調整区域において、一戸建ての住宅に限り、誰でも建築ができるよう、開発許可の要件を緩和する区域を4月1日に指定しました。

また、弘前地区の指定区域についても、一部見直しを行いました。

指定区域での住宅建築には、都市計画法の許可申請が必要となるほか、農地転用など他法令の手続きが必要となる場合もあります。

指定区域や手続きなど、詳しくはお問い合わせください。

▽問い合わせ先 都市計画課開発指導係（☎35・1134）

要件緩和の概要

【現行】

区 分	市街化調整区域
建築主	農業者などに限定
住宅の種類	農家住宅などに限定
開発許可等	必 要



【区域指定後】

区 分	市街化調整区域	
	指 定 区 域	その他の区域
建築主	誰でも可能	農業者などに限定
住宅の種類	一戸建ての住宅	農家住宅などに限定
開発許可等	必 要	

少年少女剣道教室

- ▽とき 5月17日～6月10日の毎週月・木曜日、午前10時～11時半
- ▽ところ 運動公園（豊田2丁目）ほか
- ▽内 容 ウォーキングの基礎、簡単な筋力トレーニングなど
- ▽対 象 市民1130人
- ▽参加料 無料（スポーツ傷害保険に加入を）
- ▽持ち物 敷物（一畳程度）、持ち運びできる飲み物
- ▽申し込み方法 往復はがきに、住所・氏名・生年月日・電話番号・教室名を記入し、4月29日（必着）までに克雪トレーニングセンター（〒036・8101、豊田2丁目3）へ。
- ※はがき1枚で1人までとし、応募多数の場合は抽選で決定します。
- ▽問い合わせ先 克雪トレーニングセンター（☎27・3274）
- ▽とき 毎週月・水・金曜日の午後4時半～6時
- ▽ところ 弘前B&G海洋センター（八幡町1丁目）
- ▽講師 長内淳介さん（範士八段）
- ▽対 象 小学校2～6年生で毎回参加できる人
- ▽参加料 無料（スポーツ傷害保険などに加入を）
- ※防具は貸し出しします。
- ▽申し込み方法 4月26日までの教室開催日に、会場で受け付けします。申し込みの際は保護者同伴でおいください。
- ▽問い合わせ先 弘前B&G海洋センター（☎33・4545）
- 平成22年度青森県武道館の武道教室
- 【柔道教室】
- ▽とき 毎週水・金曜日の午後6時半～8時半、毎週土曜日の午後2時～4時
- ▽対 象 小学生以上
- 【空手道教室】
- ▽とき 毎週月・木曜日の午後7時～9時
- ▽対 象 小学生以上

弘前市 販売促進活動特別支援事業 実施する 組合や団体を募集します

市では、消費者の購買意欲を促すような販売促進事業を実施しようとする、主に小売り・サービス業者で構成される市内の組合・団体を対象とした補助事業を、昨年度に引き続き実施します。意欲のある団体の応募をお待ちしています。

▽対 象 商店街振興組合や事業協同組合などの組合や、10以上の事業者で構成される任意の団体

▽募集枠 ①一般枠 ②商店街連携枠 ③特別枠「私四百 恋へよ津軽」

▽募集期限 5月21日（金）

▽採択方法 審査委員会を経て、決定します

※対象となる団体の要件や募集枠の詳細、応募書類などについては、市ホームページをご覧ください。

▽問い合わせ先 商工労政課商業振興係（☎35・1135）

動です。

県武道館（☎26・2200）

※青森県武道館ホームページ（<http://www.aomori-ken-budokan.com/>）にも掲載。

その他

再生資源回収運動 協力団体募集

市では、ごみの減量化や資源化を目的に、再生資源回収運動を推進しています。

この運動は、町会や子ども会、PTAなどの団体が回収の日時・場所を決め、家庭から出される古紙類などの資源を資源回収業者に引き取ってもらう自主的なリサイクル活動

市民農園で野菜や 花作りを楽しみませんか

4月下旬に開園する小栗山農村交流公園内農園（小栗山字沢部）と相馬昂農園（湯口字二ノ安田）に、若干の空き区画がありますので、再募集します。

職業訓練の受講者募集

雇用保険を受給できない離職者を対象に、再就職のための職業訓練を実施します。

なお、一定の要件を満たした受講者には、訓練期間中の生活保障として、訓練・生活給付金が支給されます。

▽とき 6月15日～12月14日、午前9時～午後4時

▽ところ J M T C 弘前教室（外崎4丁目）

▽内 容 ①パソコンの基本操作とマーケティングの基礎知識の習得および情報分析や企画提案などへの応用 ②ビジネススマナリーやコミュニケーションスキルの習得

▽定 員 20人

※申し込み多数の場合は選考となります。なお、定員に空きがある場合は、雇用保険受給資格者も受講できます。

▽受講料 無 料

※テキスト代として別途1万7000円が必要です。

▽申し込み 5月14日までに、弘前公共職業安定所（南富田町）へ。

▽問い合わせ先 弘前公共職業安定所（☎38・8609）

／J M T C 弘前教室（☎29・1715）

- ▽対 象 農家以外の市民
- ▽概要および使用料
- 小栗山農村交流公園：1区画50平方メートル（年間使用料5000円）／1区画48平方メートル（年間使用料4800円）
- 相馬昂農園：標準区画30平方メートル（年間使用料3000円）
- ただし、標準区画の使用面積に満たない区画を使用する場合は、1平方メートルにつき1000円を乗じた額）
- ▽申し込み方法 小栗山農村交流公園は農林部弘前分室（市役所2階、窓口254）に、相馬昂農園は相馬総合支所総務課（相馬庁舎2階）に、それぞれ備え付けの申請書に必要事項を記入し、同所に申し込みを。
- ※申請書は市のホームページ「市からのお知らせ」からもダウンロードできます。
- ▽問い合わせ先 農林部弘前分室農政りんご係（☎35・1124）／相馬総合支所総務課農林係（☎84・2111、内線842）／農政課（☎82・1635）
- 未就職卒業者の職業訓練
- 就職が決まらないまま卒業した学生などを対象に、社会人としての心構えや、就職に

- 必要な基礎力の養成などを目指す。
- なお、一定の要件を満たした受講者には、訓練期間中の生活保障として、訓練・生活支援給付金が支給されます。
- ▽とき 5月10日～11月8日、午前9時半～午後4時半
- ▽ところ パソコンスクール I・M・S（土手町）
- ▽内 容 ①パソコンの基本操作やITに関する知識の習得 ②ビジネススマナリーやコミュニケーションスキルの習得
- ▽対 象 平成22年3月に卒業した未就職の学生および生徒
- ※中学校・高等学校・高等専門学校・大学（大学院・短期大学を含む）などの学生・生徒
- ▽定 員 20人
- ※申し込み多数の場合は選考となります。
- ▽受講料 無 料
- ※テキスト代として別途1万2580円が必要です。
- ▽申し込み 4月22日までに、弘前公共職業安定所（南富田町）へ。
- ▽問い合わせ先 弘前公共職業安定所（☎38・8609）
- ／パソコンスクール I・M・S（☎32・5801）

最低工賃の改正

青森県男子・婦人既製服製造業の最低工賃が改正され、4月1日から適用されています。最低工賃は工賃の低い家内労働者の労働条件の改善を図るため、家内労働法に基づき決定されるものです。詳しい改正内容はお問い合わせください。

▽問い合わせ先 青森労働局賃金室（☎青森017・734・4114、ホームページ <http://www.aomori.plb.go.jp/>）

危険物取扱者試験と事前講習会

【危険物取扱者試験】

▽とき 6月19日・26日（両日受験可）

▽ところ 弘前高等学校（川先4丁目）

▽種類 甲種（受験資格有り）／乙種（第1類～6類）／丙種

※乙種と丙種には受験資格はありません。

▽受験料 甲種Ⅱ5000円／乙種Ⅱ3400円／丙種Ⅱ2700円

▽受付期間 5月6日～17日 ※本年度からインターネットによる電子申請ができるようになります。

詳しくは消防試験研究センターホームページ（<http://www.shoubo-shiken.or.jp/>）をご覧ください。

なお、従来の願書でも申請できます。願書は、消防本部予防課（本町、☎32・5104）か最寄りの消防署・分署へ。

【事前講習会】

▽とき 5月27日・28日（2日間）の午前9時半～午後4時半

▽ところ 消防本部3階大会議室

※車での来場はできませんので、最寄りの駐車場をご利用ください。

▽対象 乙種第4類の受験者Ⅱ100人（先着順）

▽受講料 6000円（弘前地区消防防炎協会加入事業所は3000円）

▽テキスト代 1400円（テキストのみの販売もあり）

▽受付期間 5月6日～21日（土・日曜日を除く）、午前8時半～午後5時15分

■申込先 消防本部予防課

甲種防火管理新規講習

▽とき 6月2日・3日

午前9時半～午後5時（2日間の受講が必要）

▽ところ 岩木文化センター「あそべーる」（賀田1丁目）1階ホール

▽対象 消防法で義務付けられている次の施設で、防火管理上必要な業務を遂行できる管理・監督的な地位にある人

①30人以上収容する集会所・店舗・旅館・病院・福祉施設（小規模社会福祉施設は10人以上）など

②50人以上収容する共同住宅・学校・寺院・工場・事務所など

弘前市登録統計調査員制度

登録統計調査員を募集します



市では、各種統計調査における統計調査員の選任を円滑にするため、4月から弘前市登録統計調査員制度を始めました。これは、統計調査員として活動してくれる人をあらかじめ登録しておく制度で、10月に実施される国勢調査など統計法に基づく基幹統計調査に、登録統計調査員として従事する人を募集しています。登録を希望する人や統計調査に興味がある人はお問い合わせください。

▽問い合わせ先 広報広聴課統計係（☎40・7016）

※①・②以外の希望者も受講できます。

▽受講料 5000円（テキスト代として。弘前地区消防防炎協会加入事業所は3000円）

▽問い合わせ・申込先 4月26日～5月23日に、消防本部予防課（本町、☎32・5104）または最寄りの消防署・分署へ。

河川愛護モニター募集

国土交通省では、河川愛護思想の啓発や河川情報などの把握を目的としてモニターを募集しています。

▽活動内容 巡視月誌の提出（月1回）、岩木川に関する情

報提供や河川の異常を発見したときの通報、河川関係行事への参加など

▽活動地区 岩木茜橋～清瀬橋区間（岩木川左右岸）

▽任期 7月1日から1年間

▽応募資格 活動地区付近に居住し、河川愛護に関心のある満20歳以上の人

▽募集人数 1人

▽報酬 月額4500円程度

▽問い合わせ・申込先 5月8日（必着）までに、履歴書と「川とのかかわり」について簡単に記述したもの（任意様式）を、国土交通省青森河川国道事務所河川管理課（〒030・0822、青森市中央3

文化グループ会員募集

中央公民館（下白銀町、弘前文化センター内）で活動している文化グループ「尺八グループひびき」では、会員を募集しています。初心者、経験者にかかわらず、気軽においでください。

▽活動日 毎週水曜日の午後6時半～9時

▽ところ 弘前文化センター

▽内容 尺八の基本と合奏曲の練習など

▽定員 若干名

▽会費 月額1000円

▽問い合わせ・申込先 中央公民館（☎33・6561）

高齢者虐待などの相談窓口

近年、高齢者虐待をはじめ、高齢者の処遇などをめぐるさまざまな問題が発生しています。それらに関する市の相談窓口が、4月から次のとおり変更になりました。なお、市内7カ所の弘前市地域包括支援センターにおいては従来どおり行っています。

▽相談窓口 福祉総務課高齢福祉係（市役所1階、窓口160、☎40・7037）

キッズ☆ワールドⅧ会員募集

いろんな学校の子と楽しい活動ができるよ！たくさんの大学生のお兄さんやお姉さんが、毎回みんなをサポートします。

▽活動日 5月15日、7月3日、8月21日、10月16日、12月18日、平成23年1月29日、2月26日の午後1時～4時

（内容により変動あり）

▽活動場所 弘前文化センター（下白銀町）、弘前公園ほか

▽内容（予定） ウォークラリー、炊事遠足、お料理会、科学実験、雪遊びなど

▽対象 市内在住の小学生Ⅱ60人

▽会費 年額2000円

▽申し込み方法 住所・氏名（ふりがな）・性別・電話番号・学校名・学年・保護者氏名を記入し、4月16日～30日（当日消印有効）に、はがきかフ

ックス、またはEメールで申し込みを。

※応募多数の場合は公開抽選会（5月9日の午後2時）、弘前文化センター2階大会議室）を行い、全員に結果をお知らせします。

▽問い合わせ・申込先 中央公民館「キッズワールド」係（〒036・8356、下白銀町19の4、☎33・6561、フ

ックス33・4490、Eメール chuunokou@city.hirosaki.lg.jp）

▽申し込み方法 往復はがきに、住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、開催月の前月の15日～25日（期間中の消印有効）に、弘前観光コンベンション協会フリースタイルマ

ーケット受付係（〒036・8588、下白銀町2の1）へ郵送を。

※抽選結果は返信用はがきでお知らせします。

▽問い合わせ先 弘前観光コンベンション協会（☎35・3131）

フリースタイルマーケット出店者募集

▽とき 5月16日、6月20日、7月18日、9月19日、10



弘前市は毎月5日を「りんごを食べる日」と条例で決めました。
(平成19年4月1日施行)

弘前城築城400年祭記念事業

市立博物館企画展4

「津軽に眠る名宝展」 に関する情報提供のお願い

市立博物館では弘前城築城400年を記念して企画展4「津軽に眠る名宝展」(11月27日～平成23年1月30日)の開催を予定しています。

この企画展の開催に当たり、皆さんの自宅に眠る津軽にちなんだ自慢の名品に関する多数の情報をお待ちしています。

【募集内容など】
▽募集する作品 近世から現代におよぶ津軽にちなんだ作品で、特にジャンルは問いません。

▽応募・情報提供の方法 電話、ファクス、またはEメールで市立博物館へ。

▽募集期限 8月31日(火)

▽問い合わせ・応募先 市立博物館(〒036・8356、下白銀町1の6、☎35・0700、ファクス35・0707、Eメールhakubutsu@hi-t.jp)



津軽にちなんだ自慢のお宝・名品に関する情報を募集します!

きもので さくらウオーク

弘前城に見守られながら歴史をはぐくんできたわたしたちの郷土を、レトロな街並みに合う着物姿で歩いてみませんか。

▽とき 4月29日(木) 午後1時半～4時

※雨天でも実施します。

▽集合 弘前文化センター前広場(下白銀町、津軽為信像が建っている場所)

▽参加料 無料(弘前公園有料区域への入園料などは各自負担)

【無料着付け】

一人で着物を着られない人のために、無料着付けを実施します。希望者は4月25日(日)までに、電話かファクスで申し込みの上、当日の正午までに、弘前文化センター第3和室へ着物

一式を持って集合してください。

▽協力・後援団体 協力: NPO法人 harappa / 後援: 東奥日報社、弘前城築城400年祭実行委員会

▽問い合わせ・申込先 財団法人民族衣裳文化普及協会(〒020・0024、盛岡市菜園1の4の10、第2産業会館5階、☎兼ファクス盛岡019・651・3066、フリーダイヤル0120・029・315、当日連絡先: 平井さん・☎携帯090・2792・7205、Eメール info@wagokoro.com、ホームページ http://www.wagokoro.com)

Population

人の動き



・人口 (前月比)
182,741 人 (-162)
男 83,212 人 (-91)
女 99,529 人 (-71)
・世帯数
70,720 世帯 (-37)
平成22年3月1日現在(推計)

せせらぎの園作品展開催中

せせらぎの園(障害者福祉施設)に入所している障害のある人たちが、社会的な自立を目指して作り上げた、りんごをモチーフにした作品を展示する企画展です。

▽とき 4月19日まで、午前9時～午後5時

▽ところ りんご公園(清水富田字寺沢)「りんごの家」

▽問い合わせ先 りんご公園(☎36・7439)